

岡本町内会館



鎌倉市玉縄二丁目9番地1

<http://okamotochonaikai.wix.com/okamotochonaikai>

Mail: okamotochonaikai@gmail.com

町内会会長挨拶

皆様待望の「岡本町内会館」が落成の運びとなりました。

これもひとえに会員、歴代の町内会役員、そして各種調整を率先して実行頂いた建設委員会の皆様方のご尽力の賜物と考えております。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

これからはこの施設を子供から大人まで町の絆を一層高める地域活性化の拠点として育てていきたく今後ともよろしく願いいたします。

平成 29 年 3 月 20 日

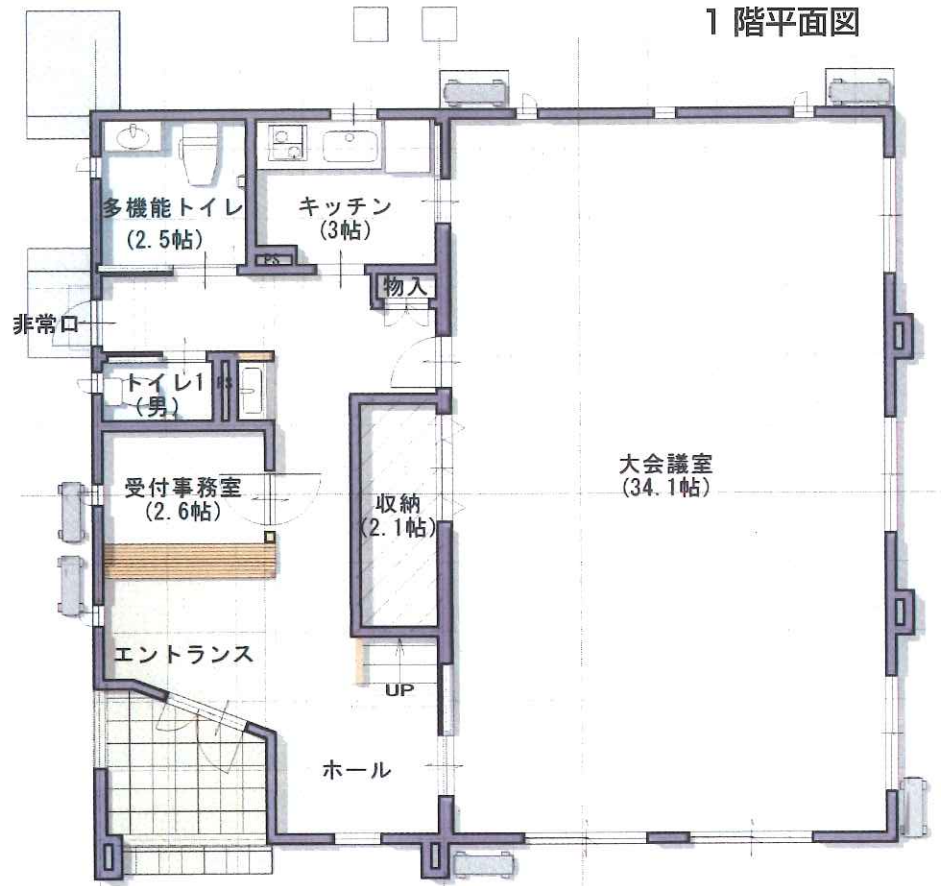
岡本町内会会長 藤原敬久

1F



1 階入口カウンター

- ・受付事務室
- ・コピー機設置



大会議室

- ・収容人数 80 人程度
- 椅子、テーブル、ホワイトボード常備
- ・間仕切りにより 2 部屋として使用可



1 階 多機能トイレ



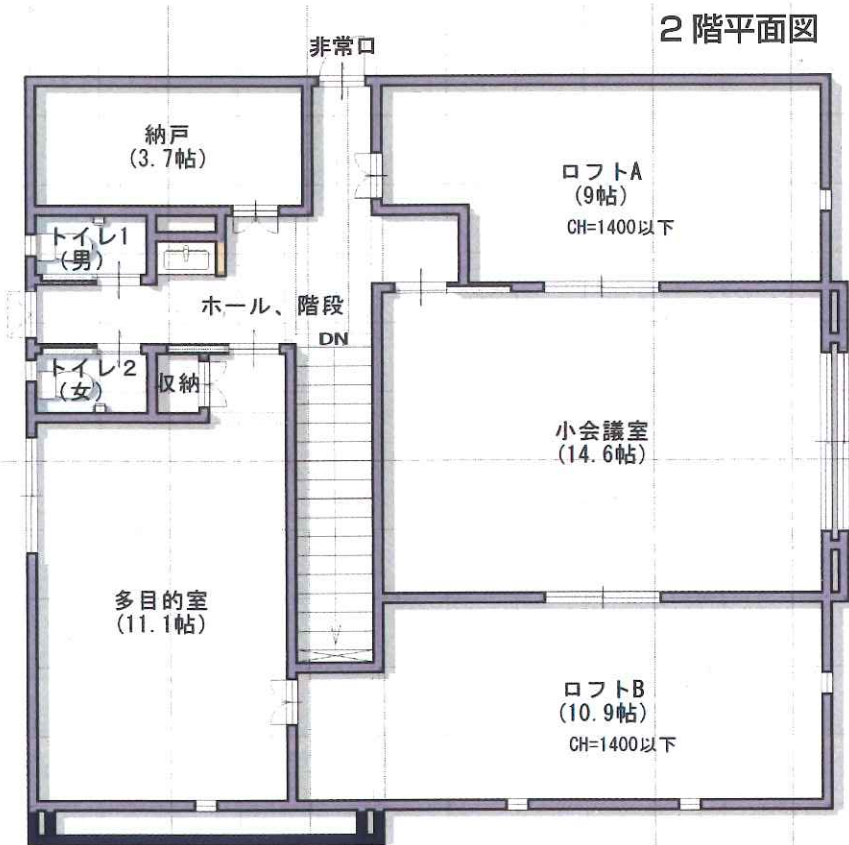
1 階 化粧洗面台・非常口



小会議室 ・ 収容人数 20人程度
椅子、テーブル、ホワイトボード常備



多目的室
・ 畳敷での使用可能



2F



2階 非常口

- ロフト (A.B) は収納倉庫として使用
- ・ 非常災害用品備蓄倉庫
 - ・ 一般町内会備品倉庫等

岡本町内会館 完成経過

この度「岡本町内会館」建設に当たり皆様方のご支援、ご協力を賜り無事に完成することができましたこと心よりお礼申し上げます。

これまでの岡本町内会集会所は、老朽化がはげしく補修を繰り返しながら使用している状況でした。また町内会諸活動の拠点施設としては不十分であり、各連絡員が集まる月一度の定例連絡会や定時総会などは、玉縄青少年会館を借りて行ってまいりました。

そのような状況下、平成26年5月に鎌倉市職員・玉縄自治町内会連合会・玉縄地区社会福祉協議会・岡本町内会役員で協議が行われ、土地所有者であった加藤様から鎌倉市に寄贈された「玉縄二丁目9番1」の土地を町内会館として使用するならば良いとのご返事を頂き、具体的に会館建設に向け「岡本町内会館建設検討委員会」を発足させました。

その後、住民説明会を経て平成26年12月の臨時総会、平成27年4月の定期総会にて会館建設および新しい会則が承認される運びとなりました。

また平成27年12月14日付で岡本町内会は法人化が認可され、並行して進めていた(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業助成金の交付が決定され財政面の確保が出来ました。

その間、鎌倉市のご指導の元、建設委員会を中心として80数回の会合において数多くの関係機関との交渉を行ってまいりました。このような背景があり、念願であった岡本町内会館は平成28年12月に完成に至りました。

岡本町内会館建設委員会

岡本・玉繩地域の変遷

この半世紀、岡本の変容は誠に著しく、昭和 30 年代までこの地域は稲作を中心とした農村でした。小学生の頃、玉繩小学校の 2 階の窓から北方を見ると、手前から東西を山で挟まれた谷戸のずっと奥まで全てが田んぼで、アミダくじのような畦道が作られ、山の裾にはオート三輪が通れる未舗装の道路が水田を囲んでおり、梅雨の降る中、横一線に並んでする田植え、夏には稲の波がうねり、秋には頭を垂れる黄金色の稲穂と掛干し、冬には凍てつく水面に映る月等々季節の味わいが充分ありました。

しかし、高度成長の余波が押し寄せ、京浜地区への便の良さから昭和 40 年代に入り瞬く間に、観音山の峠道が幅広い“切通し”に替わり、今の栄光学園前の坂道等から除いた土砂で水田が埋め立てられ広大な宅地が生じたのです。これに加え山裾はおろか中腹、山頂部までも開発造成され、町内会も数百世帯から一挙に千を超え現在は 1,200 前後を推移する現状になっています。

住民の職業構成も大幅に変わり圧倒的に勤め人世帯となり、農家も兼業で野菜を作る方が数軒という状態です。

ちなみに埋め立て後の地区の名称は、元々広大な岡本に追加ではなく、この土地の由緒から「玉繩」と整理改変されたため、岡本町内会は前岡本と玉繩の新生玉繩居住者により構成されることになりました。

さて、埋め立て前の当地の寄り合いの施設が記憶は不確かながら、岡本公会堂として、今の児童遊園のそばに位置し、半鐘付の梯子櫓と消防小屋を備えた、8 畳 6 畳の二間続きの和室で、精米所を兼ねた木造平屋建てで、町内会の寄り合いはもとより岡本高砂会（老人会）、婦人会、民踊会なども活用していましたし、その頃活発だった岡本青年団の方々が傘下の子供会のクリスマス・パーティーで皆にお菓子や飴を配ってくれた事もありました。

新会館建設については臨時総会（平成 26 年 12 月 6 日）資料をご覧頂くとして、平成 6 年 7 年の役員の方々及び町内会員の皆様が心を一にして、会費月百円を倍増の二百円に踏み切った事が、本件快挙の出発点であり、尚且つ平成 26,27,28 年からは役員の皆様には、通常は月に 3 日・年間 36 日程度町務にとられ、その上、建設担当係は、殆ど毎週日曜の会議出席と本人は素より、ご家族の皆様にもご負担を強いる事となっていたことを深謝申し上げます。
（落合健二記）

岡本町内会館建設委員会名簿（50 音順）

青木 健・麻生孝子・東 末則・池末隆男・落合健二・川崎征夫・小永井 潔
小林 誠・小島 清・近田信子・齋藤徹也・齋藤豊彦・佐藤泰子・関 義雄
角田 勇・藤堂敏文・高橋忠治・谷本憲司・中前松雄・花村博子・藤原敬久
藤田晴美・兵藤千秋・望月杏里・水野輝男・吉田愛一・吉田 良

平成 26、27、28 各年度岡本町内会役員一同、施工：三井ホーム株式会社